

海外安全対策情報(平成29年1月～3月(平成28年度第4四半期))

1. 社会・治安情勢

イエメン各地で戦闘が継続し、国内の人道状況、経済状況が深刻化しています。2017年3月末現在、反政府勢力が首都サヌアを中心とする北部地域を実効支配する一方、イエメン正統政府はアデンを中心に南部地域を統治しています。

(1)2015年3月26日以降、ハーディ大統領の要請を受けたサウジアラビア主導連合軍が正統政府を支援する形でイエメン全土にて軍事行動を展開。2017年3月末現在、サヌア県東部、サアダ、タイズ、マアリブ、ジョウフ、ハッジャ、シャブワ、ラヘジ、ホデイダ、ベイダ、サウジアラビア・イエメン国境地帯等で、空爆と戦闘が続いています。2月、正統政府はタイズ県の紅海沿岸の都市モカを反政府勢力から解放しました。

(2)南部地域では、「アラビア半島のアル・カーイダ」(AQAP)戦闘員による軍事・治安基地、検問所への襲撃が頻発しました。米国はアビヤン県、シャブワ県、ベイダ県で、AQAPに対する無人機攻撃を行い、1月末には、ベイダ県での作戦で地上兵力を投入しました。

2. テロ・爆弾事件等発生状況

(1)1月4日、ハドラマウト県カタンで、所属不明の武装者に射撃され市民2名が死亡。

(2)1月6日、アビヤン県ワディーア郡サバル地区の検問所で、AQAP戦闘員の攻撃により、兵士1名死亡、2名負傷。

(3)1月7日、アビヤン県の検問所で、AQAP戦闘員が自爆攻撃を行い、治安部隊員6名死亡、他26名が負傷。

(4)1月8日、アビヤン県県都ジンジバルで、治安ベルト部隊車両を狙い爆発が発生、数名が負傷。

(5)1月11日、アビヤン県ラウダル地区の検問所で、自動車爆弾が爆発し、複数の死傷者が発生。

(6)1月13日、アビヤン県ラウダル地区で、AQAP戦闘員が治安ベルト部隊車両を攻撃し、同部隊員1名死亡、3名負傷。

(7)1月15日夜、アビヤン県ラウダル郡の検問所で、AQAP戦闘員の攻撃により、治安ベルト部隊兵士3名が死亡、他数名が負傷。

(8)1月17日夜、アビヤン県県都ジンジバルの検問所で、AQAP戦闘員と思われる武装者の攻撃により、治安ベルト部隊兵士4名が死亡。

(9)1月23日、シャブワ県ラウダ郡で、AQAP戦闘員が治安部隊施設を爆破。

(10)1月29日、ハドラマウト県セイユンで、同県次官の車列を狙ったとみられる爆発と銃撃戦が発生。

(11)2月2日、アビヤン県ラウダル郡で、治安ベルト部隊を狙ったとみられる爆発が発生し、兵士複数名が死傷。

- (12)2月2日, タイズ市内で, 所属不明の武装集団が治安担当者を殺害。
- (13)2月8日, アデン県クレータ地区で, 所属不明の武装集団が元治安局長を殺害。
- (14)2月16日, シャブワ県アタクで, 所属不明の武装集団が同県旅券事務所長他3名を殺害。
- (15)2月21日, アデン県シェイク・オスマン地区の検問所で, 所属不明の武装集団の攻撃により, 兵士複数名が死亡。
- (16)2月22日, シャブワ県ラウダで, AQAP戦闘員が治安部隊施設を攻撃。
- (17)2月24日, アビヤン県都ジンジバルで, 内務省管轄治安機関事務所入口で自動車爆弾が爆発し, 少なくとも警官8名が死亡, 10名が負傷。同日, AQAPが犯行声明を發出。
- (18)2月27日, シャブワ県都アタクで, 所属不明の武装者が政治活動家を暗殺。
- (19)2月28日, ラヘジ県ホータで, 所属不明の武装者が, 治安ベルト部隊兵士1名, 市民1名を殺害。
- (20)3月5日, アビヤン県ラウダル郡で, AQAP戦闘員の襲撃により兵士5名が死亡。
- (21)3月18日, マアリブ県で, 輸送車両を狙った爆発があり, 政府軍兵士2名死亡, 12名が負傷。
- (22)3月21日, ダーリア県アバウド基地前で, 所属不明の武装集団の襲撃で, 同県知事の同行者2名が死亡。
- (23)3月25日, サヌア市内9月26日通りの放送施設で爆発が発生し, 負傷者が発生。
- (24)3月23日, アビヤン県ラウダル地区で, AQAP戦闘員の襲撃により内務副大臣の息子が死亡。
- (25)3月29日, イップでホーシー派武装グループが, 国際NGO組織職員9名を誘拐。